



# 平成31年度徳島市当初予算案

～ 「こころ弾ませ 幸せを実感できる」 徳島市づくり ～

平成31年2月



# 予算編成の基本方針

持続可能な行財政基盤の構築を進めるとともに、  
「まちづくり総合ビジョン」に掲げる施策を具現化し、  
**市民満足度の高いまちの実現**に取り組む

「つなぐ」まち・とくしまの実現

「まもる」まち・とくしまの実現

「おどる」まち・とくしまの実現

「行財政改革推進プラン2018」の確実な取組み

1年間を通じて全事務事業を「ゼロベース」で総点検

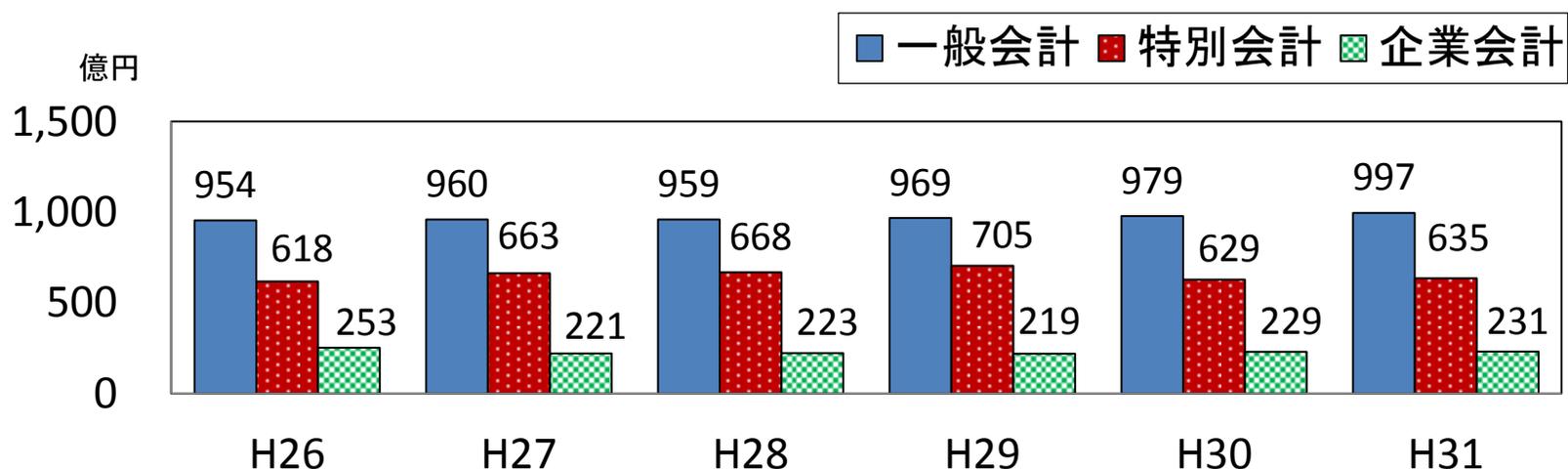
**明るい未来を創造する 「未来創造型予算」!**



# 予算規模

## ▷ 会計別予算規模

- 一般会計 **996億7,000万円**  
(対前年度比 18億円 1.8%)
- 特別会計 **635億2,663万円**  
(対前年度比 5億7,789万円 0.9%)
- 企業会計 **231億312万円**  
(対前年度比 2億3,388万円 1.0%)





# 当初予算のポイント

## 一般会計

平成31年度予算は、人件費や貸付金が減少したものの、社会保障関係経費である扶助費の増加や選挙執行費等の臨時的経費もあり、また、全国的に増加傾向となる予算規模（地方財政計画：対前年度比3.1%）の中、過去最大の予算規模となったものの、徳島市の厳しい財政状況を踏まえ財政調整基金等の取崩しの抑制に努めたところです。

「行財政改革推進プラン2018」に掲げる取組みを確実に実行するため、年間を通じて事務事業の見直しを実施し平成31年度当初予算に反映するとともに、「まちづくり総合ビジョン」に掲げる施策を実現するため、限られた財源の中、施策の実効性を見極めながら**予算の重点配分**を実施しました。

平成31年度は、「まちづくり総合ビジョン」の**3年目**、「行財政改革推進プラン2018」の**2年目**となっており、引き続き、徳島市が将来にわたり健全な行財政運営を行う基盤づくりを進めるとともに、**徳島市の未来を切り開くうえで必要な事業に取り組む**など、**市民満足度の高いまちを実現**するための施策を盛り込んだ予算としております。

## 特別会計

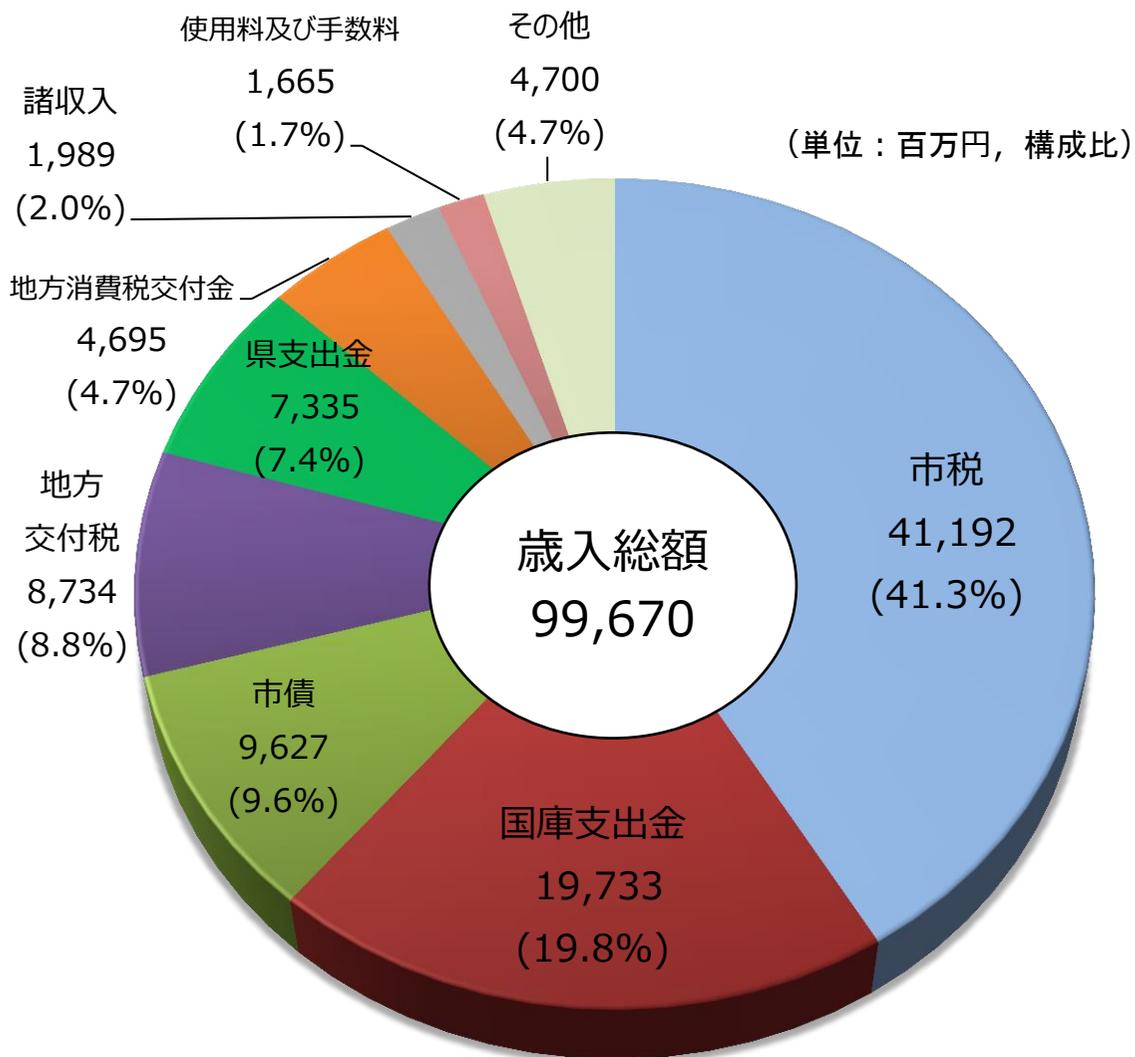
平成30年度と同様に8会計（職員給与等支払特別会計を除く）で、建設費の減等により下水道事業会計が減少したものの、保険給付費の増等に伴い介護保険事業会計が増加したこと等により、総額は増加しています。

## 企業会計

平成30年度と同様に5会計で、建設改良費の減等により市民病院事業会計が減少したものの、建設改良費の増等により水道事業会計が増加したこと等により、総額は増加しています。



# 主な歳入の内訳（一般会計）



## 前年度から増加

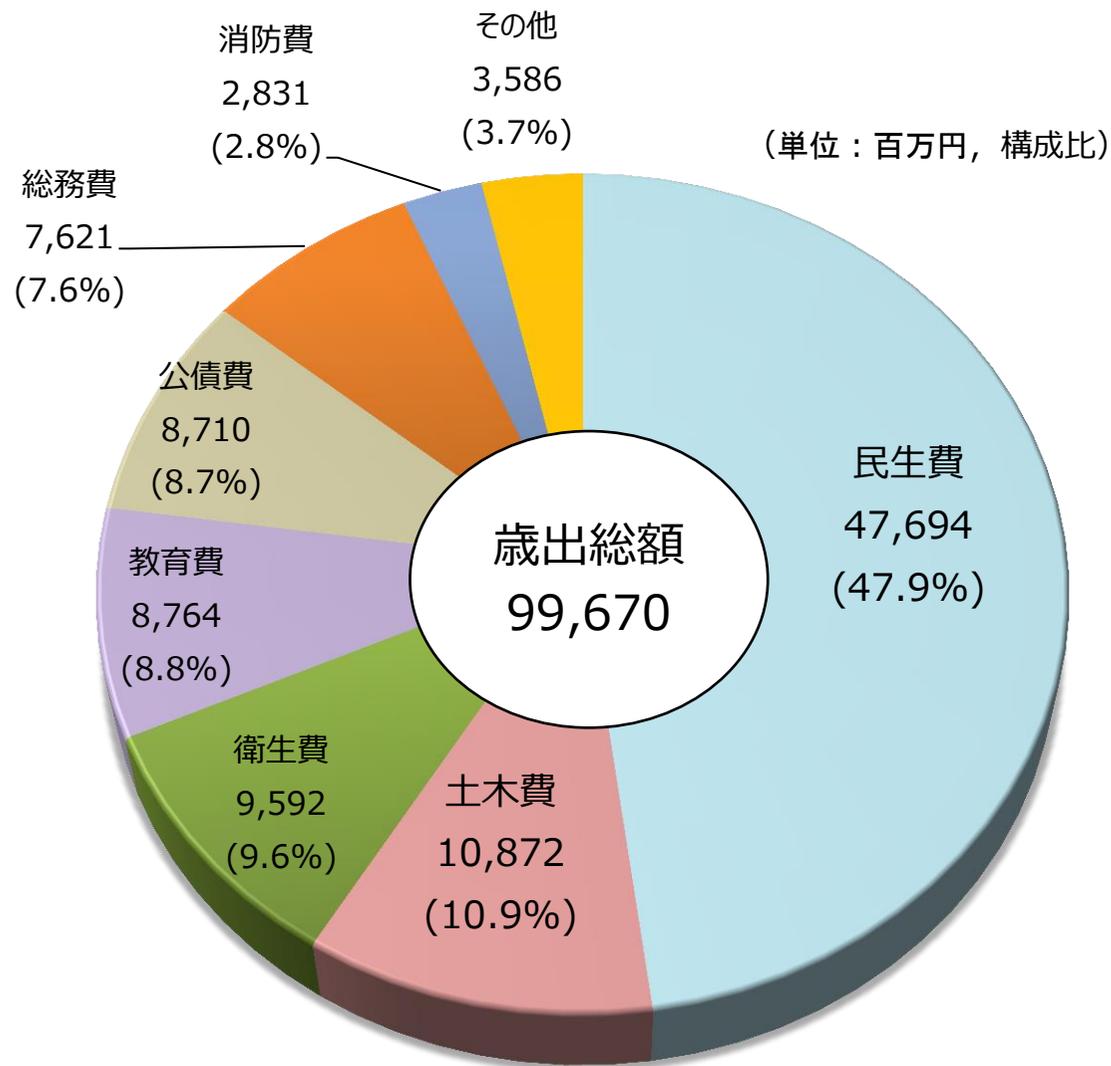
- ・市税(+2.3%)  
固定資産税及び法人市民税等の増
- ・国庫支出金(+4.1%)  
教育・保育給付費及びプレミアム付商品券事業等による増
- ・地方交付税(+6.2%)  
普通地方交付税の増

## 前年度から減少

- ・県支出金(▲2.7%)  
地域医療介護総合確保基金等の減
- ・分担金及び負担金(▲34.4%)  
幼保無償化による保育料等の減
- ・繰入金(▲42.2%)  
財政調整基金等の減



# 主な目的別歳出の内訳（一般会計）



## 前年度から増加

- ・民生費(+2.7%)  
介護給付費・訓練等給付費及び教育・保育給付費負担金等の増
- ・土木費(+2.9%)  
四国横断自動車道周辺対策事業等の増
- ・教育費(+2.5%)  
幼・小・中ブロック塀改修費等の増

## 前年度から減少

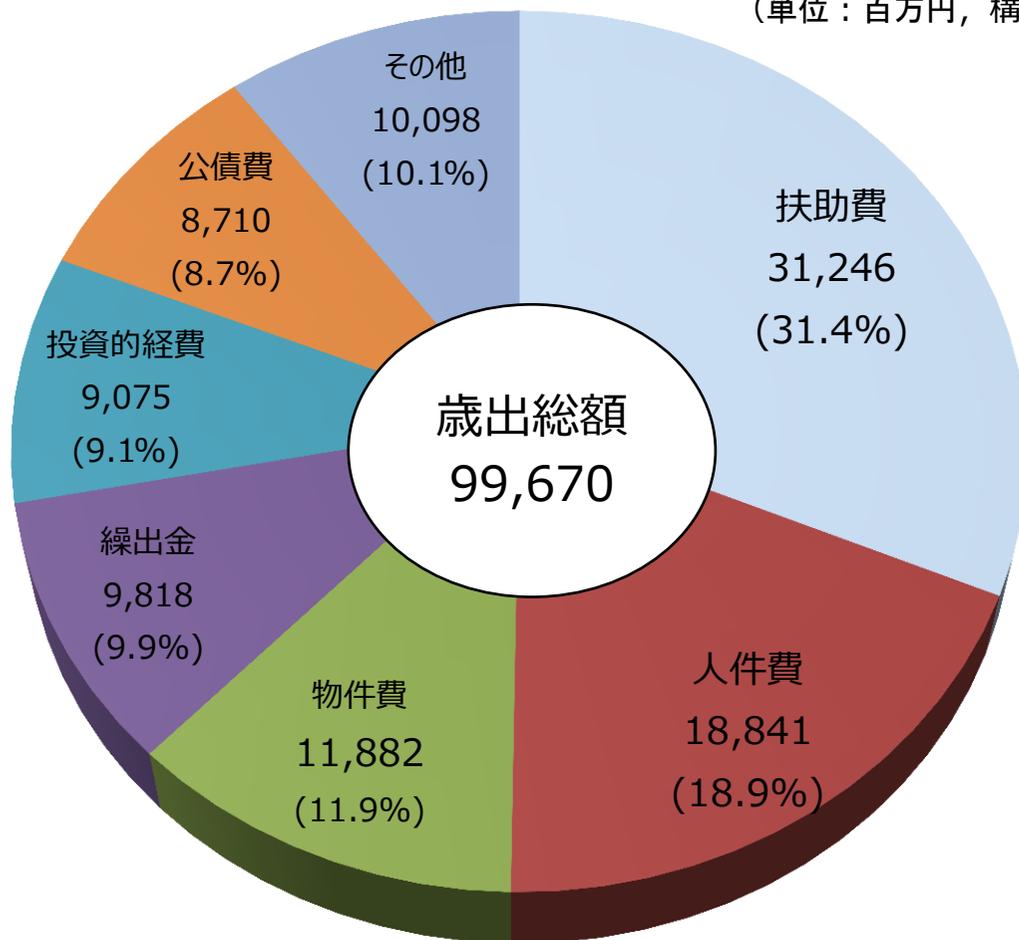
- ・総務費(▲6.2%)  
退職手当及び文化センター解体事業等の減
- ・労働費(▲37.7%)  
勤労者福祉施設耐震化事業等の減
- ・公債費(▲0.3%)  
建設債にかかる元利償還金の減



# 主な性質別歳出の内訳（一般会計）



（単位：百万円，構成比）



## 前年度から増加

- ・扶助費(+4.2%)  
認可外保育施設等無償化対応費及び法定児童扶養手当等の増
- ・投資的経費(+3.7%)  
認定子ども園整備事業及び四国横断自動車道周辺対策事業等による増
- ・物件費(+4.5%)  
家庭ごみ収集運搬業務委託及び選挙執行費等の増

## 前年度から減少

- ・人件費(▲2.3%)  
退職手当等の減
- ・公債費(▲0.3%)  
建設債にかかる元利償還金の減
- ・貸付金(▲20.5%)  
地域総合整備資金貸付金の減



# 「つなぐ」まち・とくしまの実現に向けた取組 ①

## 子育て支援の充実

234.6 億円

ポイント

『次世代を支える人づくり』

⇒ 出産から子育てまでライフステージに応じた切れ目のない支援を推進

## 教育環境の整備

ポイント

『国際化への対応』

⇒ 未来を担う人材を育成し  
多文化共生社会の構築を推進



## 地域福祉の充実

ポイント

『高齢化社会への対応』

⇒ 老後も安心して生活できる高齢者を支える体制の強化

子どもから高齢者まで、誰もが元気に笑顔で暮らせるまちづくりを推進



# 「つなぐ」まち・とくしまの実現に向けた取組 ①

## ■ 次世代につなぐ

- 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行うワンストップ拠点施設（H32開設）の準備経費  
**（新規）子育て世代包括支援センター事業 6,386 千円**
- 保育環境のさらなる向上にむけた「子育て支援員」に対する補助制度の創設  
**（新規）保育補助者雇上強化事業 22,150 千円**
- 外国語指導助手を3人増員し外国語教育の充実等を図る  
**（拡充）外国青年招致事業 92,054 千円**



## ■ 社会をつなぐ

- 介護保険事業計画における整備予定の地域密着型特別養護老人ホームに対する開設準備費補助  
**（新規）地域密着型高齢者福祉施設開設準備費補助 92,800 千円**
- 被保険者に服薬情報を通知し薬害有害事象の解消と医療費の適正化を図る  
**（新規）重複・多剤服薬情報通知事業(国民健康保険事業) 5,512 千円**

## ■ 心をつなぐ

- ポルトガル共和国レイリア市との姉妹都市提携50周年を記念し交流事業を実施  
**（拡充）国際交流推進事業 5,620 千円**



## 「まもる」まち・とくしまの実現に向けた取組 ②

### 防災・減災対策の推進

45.2 億円

ポイント

『災害に強いまちづくり』

⇒ ハード・ソフト両面から安全・安心を確保し市民の生命・財産を守る

### 生活環境の保全・向上

ポイント

『環境問題への対応』

⇒ 市民の暮らしを守るとともに  
美しく豊かな生活環境を形成



### 生活基盤の整備

ポイント

『安全で快適なまちづくり』

⇒ 市民の暮らしを支える生活基盤の整備を推進

防災・減災対策の推進など、市民が安全・安心して暮らせるまちづくりを推進



## 「まもる」まち・とくしまの実現に向けた取組 ②

### ■ 命をまもる

- 災害対策本部の代替施設となる西消防署の機能を2力年かけて整備  
**(新規) 災害対策本部機能強化事業 2,860 千円**
- 外国人からの119番通報に対応できる環境を整備  
**(新規) 多言語対応推進事業 652 千円**
- 新たに指定する指定避難所に必要な資機材を整備  
**(拡充) 指定避難所資機材等整備事業 8,715 千円**



### ■ 暮らしをまもる

- 浸水被害に対し安全な避難行動の判断となる情報をタイムリーに共有する水位計を設置  
**(新規) 危機管理型水位計設置推進事業 3,993 千円**
- 震災時等に通行を確保すべき緊急輸送道路沿いの建築物に対する耐震診断費用を助成  
**(拡充) 指定避難路沿道建築物耐震化事業 49,537 千円**
- 重要路線構成橋りょう等の耐震化工事及び橋りょう長寿命化修繕計画に基づく予防的修繕  
**(継続) 橋りょう耐震化事業、橋りょう長寿命化事業 315,000 千円**

### ■ 環境をまもる

- ごみ出しが困難な高齢者等を対象にごみを戸別収集するとともに状況に応じ安否確認を実施  
**(新規) ふれあい収集事業 14,499 千円**
- 中間処理施設整備にむけ実施計画の策定及び最有力候補地の調査等を実施  
**(継続) 一般廃棄物中間処理施設整備推進事業 82,721 千円**



# 「おどる」まち・とくしまの実現に向けた取組 ③

## 地域経済の活性化

41.0 億円

ポイント

『地方創生の取組み』

⇒ 戦略的な情報発信を行い徳島市への新しい人の流れを創出

## 観光・交流の促進

ポイント

『にぎわいのあるまちづくり』

⇒ 多くの観光客が徳島市を訪れ  
豊かな文化資源や自然環境を体感



## 若者・女性活躍の推進

ポイント

『誰もが活躍できるまちづくり』

⇒ 自らの個性や可能性を最大限に活かせる環境づくりを推進

魅力的で機能的なまちの創出など、にぎわいと活力あるまちづくりを推進



## 「おどる」まち・とくしまの実現に向けた取組 ③

### ■ まちがおどる

- 移住にかかる情報を発信するとともに、移住相談等に係るワンストップ窓口を開設  
**(新規) 移住促進事業 1,200 千円**
- 徳島市の地域公共交通の将来を見据え、まちづくりと連携した公共交通の新たな計画を策定  
**(新規) 地域公共交通網形成計画策定事業 8,598 千円**
- 台湾・香港をターゲットにした外国人旅行者誘客事業を実施  
**(拡充) インバウンド誘客事業 8,600 千円**

### ■ 夢がおどる

- 市場関係者と連携し販路拡大等に取り組む、市場の活性化を図る  
**(拡充) 市場活性化事業(中央卸売市場事業) 1,000 千円**
- 女性や若者が仕事に必要なスキルを身につけるセミナー等を開催  
**(継続) とくしま女性活躍推進支援事業 1,000 千円**



### ■ ひとがおどる

- 文化センター敷地を建設予定地とする新ホール整備にかかるアドバイザー業務等を実施  
**(継続) 新ホール整備事業 27,547 千円**
- 陸上競技場の第2種公認の再取得を目指し、フィールド・トラックの改修工事を実施  
**(継続) フィールド・トラック改修事業 665,707 千円**



## 行財政改革に向けた主な取組



■ 歳入の確保 **+ 4.8 億円** (対前年度予算比)

### 市税等の徴収強化

- 徴収率 95.1 % (H30) ⇨ 96.2 % (H31) + 4.7 億円
- 特別徴収事業所の一斉指定の実施

### 更なる財源確保

- 国際交流基金の活用 + 1,100 万円
- 自動販売機の価格競争入札の導入 + 200万円
- 地方財政措置の手厚い防災・減災等に係る地方債の活用

■ 歳出の抑制 **▲ 3.7 億円** (対前年度予算比)

### 徹底した内部努力

- 職員配置の適正化 2,033 人(H30) ⇨ 2,005 人(H31)
- 市長・副市長の給与減額の継続
- 過去最低水準まで市長交際費を見直し (50万円)

### 事業見直し

- 内部管理経費の削減、類似事業との統合等 ▲ 3.1 億円



# 事務事業の見直し

限られた財源と人員の中、持続可能な財政構造への転換を図るためには、メリハリを意識した施策の「選択と集中」を進めることが必要

H30.4に「事務事業の総点検に係る専門部会」を立ち上げ、1年間を通じて、全事務事業をゼロベースで総点検

視点1 徹底した内部管理経費の削減等

15 事業 ▲ 1億 3,800 万円

視点2 所期目的の達成や費用対効果が低下した事業等

85 事業 ▲ 1億 1,600 万円

視点3 類似事業との統合により事業費を削減した事業等

5 事業 ▲ 6,000 万円



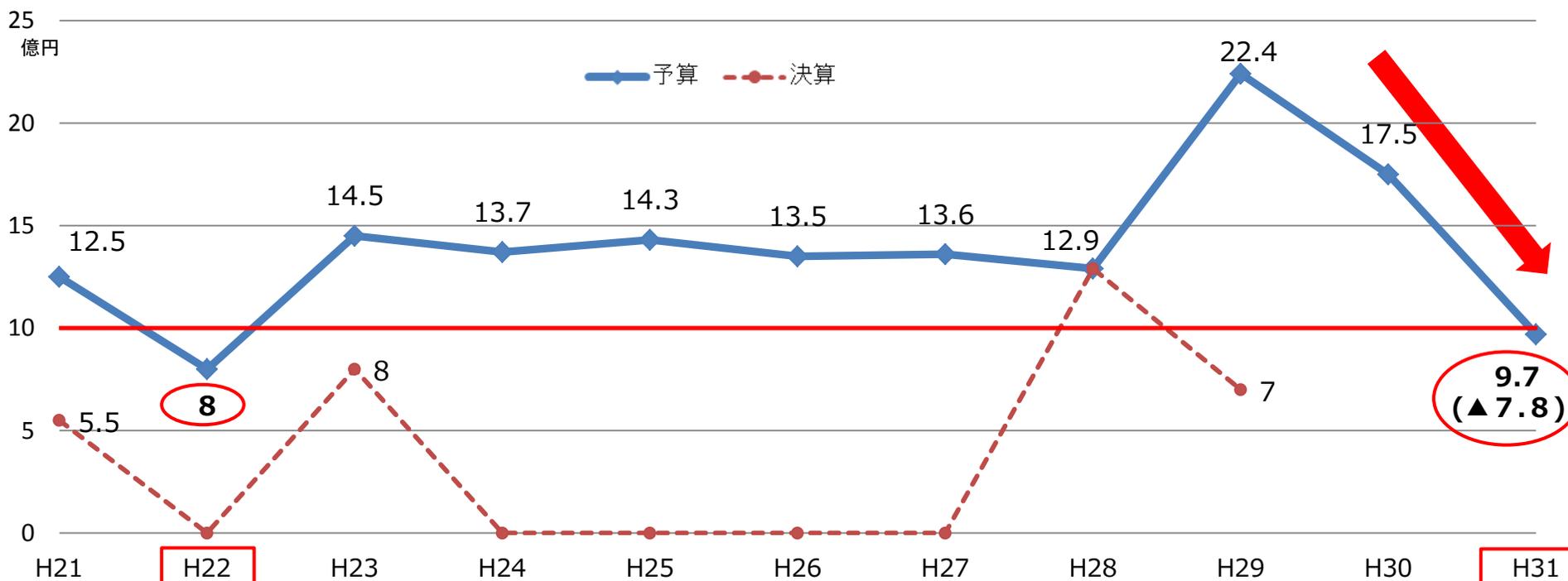
# 財政調整基金等の取崩し額の推移



財政調整基金等の取崩し額 9.7 億円 (対前年度比 ▲7.8 億円)



財政調整基金・減債基金の取り崩し額は、対前年度比 7.8 億円の減少。  
行財政改革推進プランに掲げる取組みを当初予算に反映し、平成22年度以来の 1 桁台。



注1 「財政調整基金・減債基金取崩し額の予算額」は、当初予算時の取崩し額

注2 「財政調整基金・減債基金残高」は、H29決算 56.7億円、H30予算 40.3億円、H31予算 30.6億円